

2008年4月

What's going on ?

日時	発言者	内 容	市場への影響度
4/1	UBS	サブプライム関連で追加損出計上を発表。1-3月期決算で190億ドル(1兆9千億円) マルセル・オスペル会長辞任	
4/1	JPモルガンチェース モルガンスタンレー	UBSに対して130億SF(1兆5千億円)の増資引き受け	NYダウ+391.47 →12,654.38 NY100.46-102.16
4/1	リーマン ブラザース	公募増資30億ドルを40億ドルに上積みを発表。	NYダウ+391.47 →12,654.38 NY100.46-102.16
4/1	ドイツ銀行	サブプライム関連で追加損出計上を発表。1-3月期決算で25億ユーロ(4千億円)	
4/2	バーナンキFRB 議長(議会証言にて)	* 前半はマイナス成長の可能性あり、下振れリスクも。「第二のベアスタンーズ」否定。 年後半の回復を期待。	ドル/円102円後半→102円前半へ
4/2	IMF	2008年米経済成長率見通しを1.5%から0.5%への下方修正の方向で見直し。	特に影響無し。
4/3	欧州中銀	ユーロ圏2月の小売売上高-0.5%。予想より弱い。	ユーロ/ドル1.5610→1.5570
4/3		新規失業保険申請件数が前週比38,000件→407,000件	ドル/円102円後半→102円30
4/4	米雇用統計	3月の非農業部門雇用者数-8万人。 1-3月の合計数を-23.2万人に下方修正。	円102円台半ば→101.45まで下落
4/4	ユンケルユーロ圏 財務相会議議長	極端な相場変動は望ましくない。 G7で(対策)を協議する。	特に影響無し。
4/4	トリシェECB総裁	米金融当局は強いドルに関心がある。	特に影響無し。
4/8	独政府高官	G7では「内容も説得力もある共通の解決策を提示できると確信している」と発言 (記者懇談で)	特に影響無し。
4/8	IMF 世界金融安定性報告	サブプライム問題で、金融機関の「一層の費本増強が重要」 「公的関与も必要」と指摘。	特に影響無し。
4/9	榊原早大教授	ドル/円は、夏までに90円くらいまで達する可能性は大きい。 (日経新聞の取材に対して)	特に影響無し。
4/9	日銀金融政策 決定会合	景気判断を下方修正	
4/9	IMF	2008年の米実質経済成長率を0.5%へ下方修正。 世界経済の成長率見通しも3.7%へ下方修正	
4/10	blankfein ゴールドマンCEO	信用危機は終わりに近い。	ドル高へ。
4/10	BOE	政策金利0.25%引き下げ5%へ。12月から三回目。 「現在はインフレ懸念と金融不安の両方に対応するひつようがある。」BOE声明	
4/10	ECB	政策金利(4%)据え置き。 「われわれの責務は物価安定に尽きる。」トリシェECB総裁	

2008年4月

What's going on ?

日時	発言者	内 容	市場への影響度
4/10		週間失業保険申請件数→357,000件 (市場予想よりやや少なめ)	ややドル高へ。
4/11	ポールソン 米財務長官	「(G7会議では)強いドル政策を繰り返し強調した。」 (G7後の記者会見で)	
4/11	ポールソン 米財務長官	「最近の市場の変化を反映した。」 (G7後、声明文の変更についての記者会見で)	
4/14	米ワコビアバンク	1-3月期決算で48億ドル(4800億円)のサブプライム関連損出を計上。 ヘッジファンドなどから70億ドル(7000億円)の資本増強発表。	ドル高、NYダウやや上昇。
4/14	ウォールストリート ジャーナル	ドイツ銀行が「レバレッジドローン」など最大200億ドル(2兆円)の試算売却を検討。 4/14付けWSJ紙が報道。	
4/15	テマセクホールディング (シンガポールの政府系ファンド)	米メリルリンチの株式6億ドル(約600億円)を追加取得。 合計で50億ドルの投資となる。	
4/16	JPモルガンチェース CEO	信用危機はほぼ終わりつつある。	
4/16	ECB	ユーロ圏 CPI→ 1.0%(前年比)	ユーロ/ドル 1.57台半ば→1.59台へ
4/17	メリルリンチCEO	二ヶ月くらいは厳しいが、今後の業績に楽観的な見通しを示す。	NYダウ、為替市場に好影響。
4/17	ユンケル ルクセンブルク 首相兼財務相	金融市場は為替相場に対するG7の姿勢を誤解している」と講演で発言。	ユーロ/ドル 1.5985→1.58台へ
4/18	シティグループ	1-3月期決算で160億ドル(1兆6千億円)のサブプライム関連損出を計上。 昨年からの合計額460億ドルに。	予想されたほどではなくドル、NYダウ急上昇。
4/21	バンク・オブ・アメリカ	1-3月期決算で67億ドル(6,700億円)のサブプライム関連損出を計上。 純利益→前年同期比77%の大幅減。	ドル、株式市場共にやや下落。
4/21	イングランド銀行 (BOE)	金融支援策を発表。市中銀行が保有する住宅ローン証券と国債を交換し、銀行による貸し出しを支援。総額500億ポンド(約10兆円)	
役	シティグループ	優先株発行で60億ドル(6000億円)の資本増強。三回目の資本増強で合計450億ドル(4兆5千億円)に。優先株は当初10年間は8.4%の固定。	
4/22	ロイヤル・バンク・オブ スコットランド(RBS)	2008年12月期中にサブプライム関連で59億ポンド(約1兆2千億円)の損出計上を発表。 昨年からの合計は83億ポンドに。同時に120億ポンドの増資も発表。	
4/22	フィッシャー ダラス連銀総裁	インフレが消費に影響を与え始めている。(講演で)	
4/23	フレアティ カナダ財務相	「G7での声明が市場に浸透していない。」とコメント。	ドル小幅上昇。
4/24	クレディ・スイス	1-3月期決算で53億スイスフラン(約5300億円)のサブプライム関連損出を計上。 最終損益が21億4800万スイスフラン(約2200億円)の赤字に。	
4/29	ドイツ銀行	1-3月期決算で27億ユーロ(約4400億円)のサブプライム関連損出を計上。 最終損益が1億3100万ユーロ(約210億円)の赤字に。	
4/30	シティグループ	自己資本比率を高めるため、公募増資で45億ドル(約4700億円)を調達。 今回の増資で四回目。総額495億ドル(約5兆円)に。	
4/30	FOMC声明文で	「経済状況は引き続き弱い。」「成長と物価安定確保のため、必要あれば行動する。」 「経済・金融状況を引き続きモニターしていく。」	ドル/円104円後半→104円前半へ NYダウ+100ドル→マイナスへ